

Wri NewsLetter No. 50

1978年1月26日 大阪市阿倍野区旭町2-12-2 ウリ大西 戦争抵抗者インター日本部 発行

WAR RESISTERS INTERNATIONAL - JAPAN. (略称 N.W.H. (ナリ) 2-12-2, ASHIMACHI, ABE NO, OSAKA.

東シマ方日軍戦線 公判速報から(抄)

再開第九回 七七年一月二三日

〔高橋弁護人〕荒井まり子被告が違れた理由について裁判所に調査を求めたい。

〔裁判長以下Sと略〕 時間あれね：

〔内田弁護人〕 公判に携行する書類について一服川被告は現に持つて来ているものの携行を拒否され、抗議したところ暴行をうけた

〔S〕 午証人調べが終り、時間があるばきく。へは証人尋問開始) 略

〔午証人尋問の九分、古賀検事より次回証人申請について説明、その後)

〔荒井まり子〕 出廷のため携行書類を女は長が一部を除いた。今迄持つて来たものであり、黒川さんは現に同じものを持参している。抗議すると、私を蹴り上げ床に引倒し、裸にして引きずり、バスにブチ込んだ。抗議すると首を締め、髪を引っ張り、頭を壁面に打ちつけ、足を縄で括り、手錠をきつくし、猿くつわをし押えつけ、胸をはだけたままで縄で括り、リバをほきかける、という事が一

時間半もつづけられた。仮監へも後から乳房をつかんで運ぶという辱しの行為をした。公判資料を持つて来ることを追及したらこういふことをされた。乳房をつかんだ奴は、その女看守の右隣にいる奴だ。

この場で謝罪しろ一傍聴席からニミ度くり返して〇は拘束。

〔新美弁護人〕 押送のバスの中で法的手続きなしに暴行が行われている。

〔荒井まり子〕 バスはいつも看守だけで私一人だ。途中で何をされるかわからない。

〔古賀検事〕 事実の有無は調査する。

〔新美弁護人〕 不当な暴力が働いている。押送がみられたことに裁判所は関心を持たざるを得ない筈だ。

〔S〕 検事が調査されるから……

〔新美弁護人〕 こういう場で看守の暴行を言うことは勇気がいることだ。厳重調査を望む。

再び暴行をされた、押送バスの中で

(由井)

宇里乃 奈加乃乃 安意古 登茂 喫天ホ乃里平

宇判邦版

○公判速報、ウリで取次きます。尚、その実行のためのカンパなども、ぜひおよせ下さい。年間一ロ千円ぐらいで、
へ東ツジア反日武装戦線公判速報から

再聞六一〇回 七七年二月二七日

―前回公判で調査を申立てていた荒井まり子さんが押送の途中暴行をうけた件につき、東京拘置所からまだ返事がきていない、として終り。また今回も暴行をうけたと訴えたが、証人調べの後でよく、として証人調べに入る。前10時21分。―中略―証人調終了五時14分。発言。

「荒井まり子」 今日も暴行をうけた。押送バスの中もサルグツワをされ、足を押えつけ、ギョリ、暴行をうけてきた。裁判資料もその時々の手書の一方的断り妨害される。

「裁判長」 抵抗しているのではないか。

「まり子」 暴力をやめろという暴行される。何が公判資料が、説明を要求すると暴行をうける。バスのカーテンを開けようとする暴行される。私一人だけ最後尾のバスに乗せられて暴行される。

「S」 検察官の調査の報告が来ていない。

「まり子」 東拘は検察官に報告したと云っている。そして今日も暴行された。

「S」 報告を待って。――

（付記） 内廷5時20分頃

昨年6月、ぼくは八狼たちのことVという小文を書いた。『ぼくらがいまだまつている』というものは、

権力がことさらに彼らとの悪逆をこじつけ、デツチあげはしないか、というおそれと警戒心からである。もとよりそれにいわれはない。いわれがないのにおそれる。だまりこむ、それはまさに権力のつくり出し狙うところのものである。そのようにして権力の忍意と不法をゆるすことでもある。とすればその不法に断平として闘うこと、そのためにせめて発言

することをおそれてはならない。『自己保身となく病のために黙り込むことで、権力の思うつぼにはまつていくような状況は打ち破られねばならぬ。彼らを弁護するのはなくへぼくにその資格はない。自分が兎、聞き、知り、感じたそのまゝで、平直に彼らのある部分を非とし、あるいは是として、あらゆる思いを表明することである。』

：と、こんなことを云いながら、ぼくとはぼくはともゴワイのである。思わず足が駆け出して、遠くの方へとんで行きたくなるような気がする。とくにこのごろの権力の手口をみるとスロソイ。ウリの最近のシヤカリキぶりには、遠くからみていて何となくナジメない。この感想があつたが、それは臆病（おそれる）身ぶるのを武者ぶるにみせているようなところからだろう。この弱さを弱さとしてかくさず、しかも、あたり前のことをあたり前として自分の意見は表明していくことで闘いをつくつていきたい。

事務所から

(序)

④ 18日、東京から中原君がきて、何年がかりかで作した『靖国④』と白山西反軍裁判記録④を上映してくれた。(8ミリカラー、トーキー) 主催 反民衆

前者は、日本の軍国主義化、帝國主義的繁栄に抗して三年前、靖国神社大村益次郎銅像前で剖腹して自死した愛大生中島信雄さん(3)の遺言、遺書、テープなどにはじまり、その中島さんのことを斬肉で知り靖国の境内で、彼の位牌をみざり、三十数年前戦犯として死刑を宣告され、北京刑場で死んでいつか戦友の遺志をうけて脱走したという戦友たちが托した「日本国民に告ぐ」遺言をくりかえしくりかえし訴えついでける馬沢さんの姿を30分のドキュメンタリーとして送るもの。たとは數十篇の天皇制批判の文章にもまして、ぼくは深い感銘をうけた。Fくさんの人にみてもらいたいと思つて、すぐハス米島訴訟の桑田さんに、東京の会合でぜひ一ど上映を、と手紙をかいた。

④ 以前にみた八靖国④のよよいものだった。中原君の都合もあるが、上映会を企画して打合せてもらうとよいと思う。(この④とよむ)

④ 後者は45分。ここ数年間のへい西裁判支援の会のもの。そのときどきの活動を記録したフィルムを編集したもの。こうしてみると、長い年月を「よくやつてる

ナア」という感嘆のなかから重い感動がわいてくる。それとは別に、時と人、場所をかえて出てくるピラマキやデモ、シユプレヒエールの声や集会アビールのシーンを何ともみながら、ふと出てくる自己批判的な警察デモのやりか、ピラのまきかについて、の教訓「ぼくのことばでなせば技術そのものに示されねばならぬ」思想の追及を、この映画を媒体として、みんなとやれたらよいナアということだ。

④ 「エネルギーが足りなくなる。原子力発電に反対して、電気が不足したらどうする？」という反問がある。また、「原発のない都会地での、反原発運動つて、どうしたらいいのかわ？」という声までいみだいな声もある。ぼくの答はこうだ。

たとえばぼくらには、このごろビールをふとアルミ缶でのび。百円玉をもって自動販売機に投入すると夜でもビール一缶30ccがころがり出る。それはぼくらの便利さ以上に、資本のモウケのためであり高いおゆか切替のためであり、つまり「飲まされる」のだ。そしてビール350ccのむために(実はアルミを製造のための)重油を何と100ccをも飲んでいことになる。もし、瓶入りビールなら、(回収されて10回使う)わずかの80cc、缶ビールの25分の1ですむ。(ブリキ缶なら80cc)。ごんなバカげたエネルギーの

○原発批判者被曝その他のスライドを用意しました。そのうち三、四人でも集まるとあれば、もつてこちらから押しかけます。

○ウリニユース定期購読希望の方は、封筒に宛名記入、50円切手貼付のもの5〜10枚お送り下さい(ハイオクの分として送らるる浪費を、ぼくらにやらせることによつて資本は、ますますモウケ、ぼくらの生活をとりこにしている。エネルギーが足らなくなるといつて、自動車はいよいよ増産され、石油ストーヴの代りにセントラルヒーティングを宣伝する。原発によつて電力を、ということはいよいよエネルギー浪費の社会を維持する以上に、いよいよ拍車をかけることであり、その方向への無制限の突入を意味する。エネルギーを核は、このような私たちの生き方、社会の在り方に対する大転換に気付く絶好の機会なのだ。ぼくらはず、自分の生き方から変えていかねばならない。そのことで世界を変えかねばならない。とすれば、電力の最大消費地である都市でこそ、原発は、自らの財力とならねばならぬのではないか。(この項、次号にフック)

④ 別紙(同封)のように2月4日右6〜8良心的車道費拒否の会Vの「車道費分税金の保留(自営者など)源泉税既納分の還付請求(給料者)のための確定申告のやり方説明指導会」を、甚原橋解放センター3Fでひらく。知己友人をおさそい下さい。尚、会代表の大沼道夫さんが、13日ごろから16日まで在阪して、極意説明のための労組やグループ、数人あつまるころならどこでも出かけて、話をしたいとの希望です。どこかキマてくれーと云うところありませんか。紹介して下さい

い。話をきいてみようというところであれば参上。ウリ事務所へ連絡を。(47-1408) よろしく。

⑤ 2月1日(水)右630くら。神戸NDの会例会。場所、国鉄六甲道下車へ神戸市灘区備後町5-12-18、オートビル4F、エンカウンスターター。会場費として100円位のカンパ。

⑥ 2月3日(金)一回反原子力市民講座(1)原発の危険性への反省会と2)回講座2月8日(火)反原発1くらしを問い直す視察からVの打合せと準備会夜7:30。場所、大阪市北区兼村町50サクラビル新館308号室(電21-18456)日本消費者連盟関西グループ内、原子力はごめん(関西連合会(会間連)へ原研連のニュースへつゆくさ通信1)と書いて下さい方にはお送りします。お申出下さい。

⑦ へ久米島訴訟ニュース4号Vが出ています。届いてない方はお送りします。お申出下さい。

⑧ へ台湾の政治犯を救う会ニユース2月号と特集号が出ています。隔月刊、一部200円年間千二百円申込みは東京都千代田区外神田2-1-2東進ビル3号。

⑨ へ阿伊古登改Vの場合化装乃利は不可。文具店で売つてる筆からの、例えば「よきま」などを使用して下さい。コレクションのFめにも美麗、細心の留意をおねがいします。とくに最近は……。(24日)